

4. 情報発信

(1) 観光庁事業

2022 年度観光庁看板商品創出事業

「近代化遺産」の共生・共創を目指す水島

みずしま財団 林美帆

みずしま滞在型環境学習コンソーシアムでは、研修の受け入れ体制の整備がめざされていた。そこで、観光庁看板商品創出事業を活用して研修受け入れ体制の整備を行った。

事業の目的

水島・岡山の生業である水島コンビナートを軸に据えて、「大人の修学旅行」のコンテンツを造成する。これまで水島の学びを SDG s に結び付けてコンテンツ開発をしてきたが、水島の学びはユースの教育旅行だけではなく、大人へも開かれるものである。コンビナート形成によって生み出された街の背景や亀島山地下工場を看板商品として、「大人の修学旅行」と銘打って SDG s や人権について学べるコンテンツを整備する。大人ならではの夜の街の楽しみや、産業や災害への視点（ダークツーリズム）の要素を組み込み、コンビナートがあるからこそ現実味を持って実感できる ESG 投資や脱炭素について楽しく学ぶ機会を提供する。

実施した取り組み

- ・水島ガッツリ MAP の作成
- ・案内看板の作成

水島の街中 8 か所に設置。大阪公立大学生と水島まちづくり協議会とワークショップを実施して設置場所を選定した。

- ・動画・WEB サイト・ツアーパンフレット作成
ツアーの情報をまとめてウェブサイトに記載
(<https://sdgs.mizushima-f.or.jp/>)

モデルツアーに帯同し動画を制作（水島 B サイト：YouTube に掲載）

- ・モデルツアーの実施

干拓と水害ツアー（板敷水門）→大阪公立大学・岡山大学生と実施（2022/9/11）

平和と産業ツアー（亀島山地下工場）→凱風館修学旅行で実施（2022/10/24）



コンビナート夜景クルーズと焼肉ツアー→水島通船と実施（2022/12/25）
スナックツアー→ホテル宿泊客をターゲットにした商品を開発検討

作成した看板商品

<看板商品名>

みずしま滞在型環境学習コンソーシアム SDGs ツアー

- ①公害からの再生を学ぶコース（みずしま資料交流館など）
- ②環境問題と産業の変化を学ぶコース（コンビナートクルーズまたは工場見学）
- ③平和と多文化共生について学ぶコース（亀島山地下工場）
- ④開発と災害・防災を学ぶコース（千人塚・板敷水門（日本遺産））
- ⑤まちづくりに取り組む人たちに会い学ぶコース（まちあるき）
- ⑥子どもの居場所づくりを学ぶコース（子ども食堂）

<所要時間> 2時間半

<人数> 各コース 40名程度 コースの組み合わせで200人対応可

<価格> 1人1500円（40人に満たない場合は1団体6万円）

<対象者> SDGs・人権・環境・平和・福祉の研修 小学生以上

<事業の成果>

- ・6件の新規観光コンテンツの造成・販売開始。
- ・水島のツアー認知度向上

（中日新聞東京新聞 2022年10月30日、朝日新聞 2023年2月23日教育面）

これら開発した看板商品を基盤として、2023年度から研修の受け入れを促進していく。

